

スマートフォン上のアプリケーションにおける利用者情報の取扱いに係る調査・分析の請負

～スマートフォン プライバシー アウトルックⅦ～

2020年3月31日

株式会社日本総合研究所

1. 背景

- ・ 総務省の「利用者視点を踏まえたICTサービスに係る諸問題に関する研究会」の議論を経て、平成24年8月、アプリケーション（以下「アプリ」）ごとのプライバシーポリシー（以下「プラポリ」）の作成・掲載等を提言内容とする「スマートフォン プライバシー イニシアティブ」（以下「SPI」）が公表され、平成25年9月には、利用者情報の適正な取扱いの実効性を確保するために、運用面・技術面から第三者がアプリを検証する仕組みを民間主導で推進すること等を提言内容とする「スマートフォン プライバシー イニシアティブⅡ」（以下「SPIⅡ」）が公表された。
- ・ 総務省のタスクフォースにおける議論を踏まえ、平成25年度はアプリの利用者情報取扱い実態調査や関係団体の取組等の検討結果が「スマートフォン プライバシー アウトルック」（以下「SPO」）として取りまとめられた。平成26年度は引き続き実施したアプリの利用者情報取扱い実態調査の結果、平成26年度から実施された第三者検証に係る実証実験の結果等が「スマートフォン プライバシー アウトルックⅡ」（以下「SPOⅡ」）として取りまとめられた。平成27年度も引き続き実施したアプリの利用者情報取扱い実態調査の結果、第三者検証に係る実証実験の結果等が「スマートフォン プライバシー アウトルックⅢ」（以下「SPOⅢ」）として取りまとめられた。平成28年度も「スマートフォン プライバシー アウトルックⅣ（案）」として引き続き実施したアプリの利用者情報取扱い実態調査の結果、第三者検証システムの運用設計・最適化の実証実験結果、民間、諸外国の取組状況調査の取組状況を取りまとめられた。また、平成28年度は個人情報保護法の改正や平成26年～28年までの第三者検証に係る実証実験等を踏まえて、関係事業者等の役割分担の明確化や取組の具体化等を目的として、「スマートフォン プライバシー イニシアティブⅢ」にこれまでの検討内容を取りまとめた。
実証実験終了後の翌年の平成29年度も、アプリの利用者情報取扱い実態調査、民間・諸外国の取組状況調査については引き続き調査を実施し、「スマートフォン プライバシー アウトルックⅤ」として取りまとめられた。平成30年度では、アプリの利用者情報取扱い実態調査、国内外の民間の取組状況調査に加えて、情報収集モジュールの情報流通の仕組みの調査や大手SNS事業者やEC事業者のスマートフォンのアプリ広告における動向等の調査も行い、「スマートフォン プライバシー アウトルックⅥ」として取りまとめられた。
- ・ 令和元年度では、国内外の民間の取組状況や情報収集モジュールの情報流通の仕組みについて大きな変化がないことから、アプリの利用者情報取扱い実態調査に絞って調査を行い、「スマートフォン プライバシー アウトルックⅦ」として取りまとめた。

2.1.アプリケーションのプライバシーポリシー調査 調査概要①～調査対象～

①人気アプリ、②新着アプリについてプラポリの掲載状況等の調査を行った。

(①ではAndroid・iOSでそれぞれ100アプリ、②ではAndroid・iOSでそれぞれ50アプリを調査対象とした)

また、情報収集モジュール事業者のプラポリの作成・掲載状況、プラポリの記載内容の調査も行った。

【調査目的】

・SPIにおけるスマートフォン利用者情報取扱指針を踏まえ(※)、アプリプラポリの作成・掲載等の実態を調査する。

(※)スマートフォンにおける利用者情報を取得するアプリ等については、取得情報の項目や利用目的、外部送信の有無等といった8項目について明示するプラポリを作成し、利用者が容易に参照できる場所に当該プラポリを掲示することが望ましい旨が記載されている。(SPIの59ページ参照)

【調査対象】

	アプリのプラポリに関する調査		情報収集モジュール提供者のプラポリに関する調査
	国内		国内外の情報収集モジュール事業者
	①人気アプリ	②新着アプリ	
対象サンプル数	計200アプリ (Android:100、iOS:100)	計100アプリ (Android:50、iOS:50)	計20社 (国内:10、海外:10)
抽出基準	アプリマーケットの無料アプリのランキングから上位100アプリを抽出※1	新着アプリの中から50アプリを抽出※2	今回の調査で取得したアプリプラポリに記載されていた事業者を抽出
抽出日※3	2019年10月	2019年10月	2020年3月

※1 「App Annie」から2019年10月30日の「Google Play」、「App Store」の日本の無料ランキングにおける上位100アプリを抽出。調査実施時にアプリがマーケットから削除されていた場合には繰り上げを行い抽出した。

※2 Androidの新着アプリは「App Annie」から2019年10月30日の「Google play」の新着無料ランキングの200位～250位を抽出(①の無料ランキングの重複を避けるため)。iOSの新着アプリはiPhone・iPadアプリの様々な情報の配信サイト「CatchApp」の新着アプリ一覧からリリース日が2019年10月30日以前のアプリを抽出。調査実施時にアプリがマーケットから削除されていた場合には繰り上げを行い抽出した。

2.1.アプリケーションのプライバシーポリシー調査 調査概要②～調査項目～

調査の調査項目は下記の5項目である。

【調査項目】

大項目	小項目
【1】プラポリの作成・掲載状況	【1-1】プラポリの掲載率(「アプリ紹介ページ内」、「アプリ内」の2か所の掲載率) 【1-2】プラポリの記載内容の分類 【1-3】プラポリの掲載階層(アプリ内におけるプライバシーポリシーの掲載階層)
【2】SPIで示される8項目※1の記載状況	【2-1】SPIで示された8項目の記載有無
【3】利用者情報の取得に関する同意取得状況 (Androidのみ対象)	【3-1】電話番号、メールアドレス、位置情報、アドレス帳を取得する可能性の有無 【3-2】プラポリの中での情報取得の記載有無(プラポリの取得情報の中に、取得する可能性のある情報が記載されているか)
【4】プラポリの概要版作成・公表状況	【4-1】プラポリの概要版の掲載率(「アプリ紹介ページ内」、「アプリ内」の2か所の掲載率)
【5】プライバシーポリシーの改定状況	【5-1】プラポリの改定履歴の記載状況

※1 【SPIで示される8項目】①情報を取得するアプリ提供者等の氏名または住所、②取得される情報の項目、③取得方法、④利用目的の特定・明示、⑤通知・公表又は同意取得の方法、利用者関与の方法 ⑥外部送信・第三者提供・情報収集モジュールの有無、⑦問合せ窓口、⑧プライバシーポリシーの変更を行う場合の手続き

【調査対象別の調査項目】

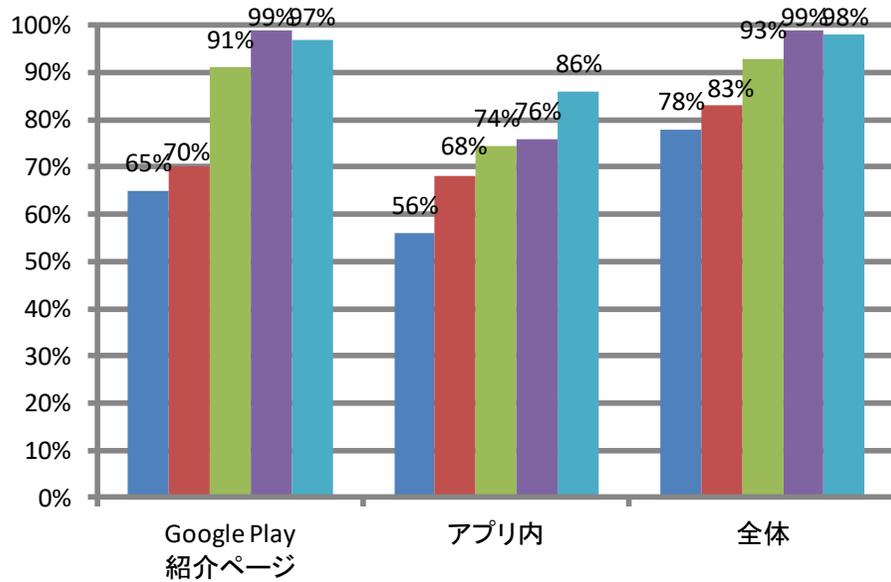
	国内		国内外の情報収集モジュール事業者
	①人気アプリ	②新着アプリ	
【1】	○:実施	○:実施	△:一部実施(ウェブページにおける掲載有無のみを評価)
【2】	○:実施	○:実施	○:実施
【3】	○:実施(Androidのみ)	○:実施(Androidのみ)	×:実施しない(技術的に不可能)
【4】	○:実施	○:実施	○:実施

2.2.アプリプラポリ調査 調査結果(①人気アプリ:【1-1】プラポリの掲載率)

アプリマーケット運営事業者(Google、Apple)がアプリ紹介ページにプラポリのリンク掲載を強く求めているため、Android、iOSともに「紹介ページ」及び「全体」の掲載率がほぼ100%に近付いている。

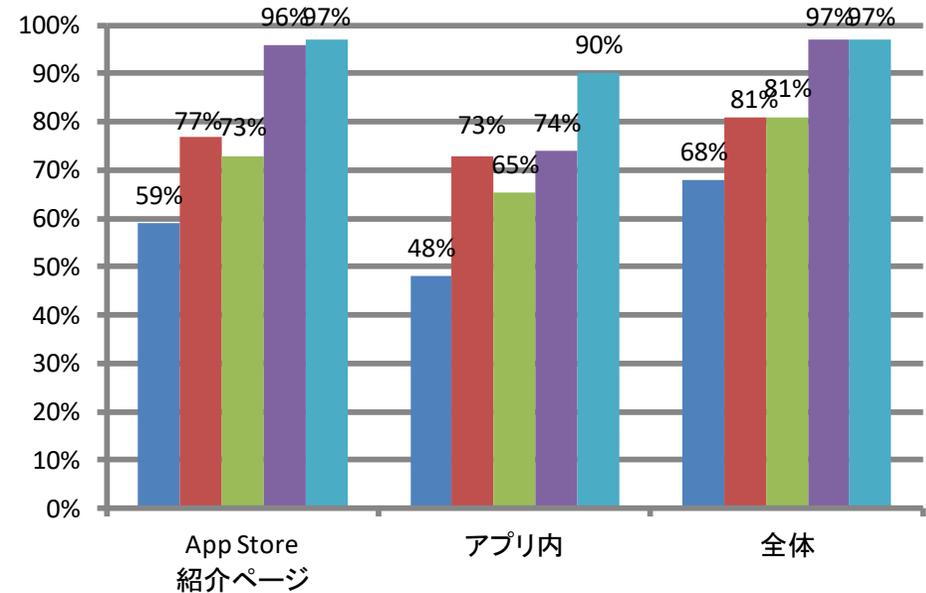
※紹介ページにおいてプラポリ不掲載と判定されたアプリは、プラポリのリンクは掲載されているものの、遷移先がプラポリではないケースである。

【Android】プラポリの掲載率



■ 2015年10月 (n=100) ■ 2016年10月 (n=100) ■ 2017年11月 (n=100)
■ 2018年12月 (n=100) ■ 2019年10月 (n=100)

【iOS】プラポリの掲載率



■ 2015年10月 (n=100) ■ 2016年10月 (n=100) ■ 2017年11月 (n=100)
■ 2018年12月 (n=100) ■ 2019年10月 (n=100)

※掲載率:以下の「A」から「F」までのうち、「F」判定以外であれば、「プラポリ有り」と判断。

(「個々のアプリに関するプラポリが作成されていること」、「SPI8項目が適切に記載されていること」を示すものではない)

A: 個々のスマホアプリ専用のプラポリが用意されている。B: サービス全体のプラポリがあり、その中に個々のスマホアプリに関する記述がある。

C: サービス全体のプラポリがあり、その中に個々のスマホアプリに関する記述がない。D: 一般的なWebサイトのプラポリがあるだけ。

E: 会社としての抽象的なポリシー(個人情報保護方針)があるだけ。F: プラポリが記載されていない。

※紹介ページの掲載率:「紹介ページのリンク」が「紹介文内での記載」のどちらかが「F」以外の判定となったアプリの割合。

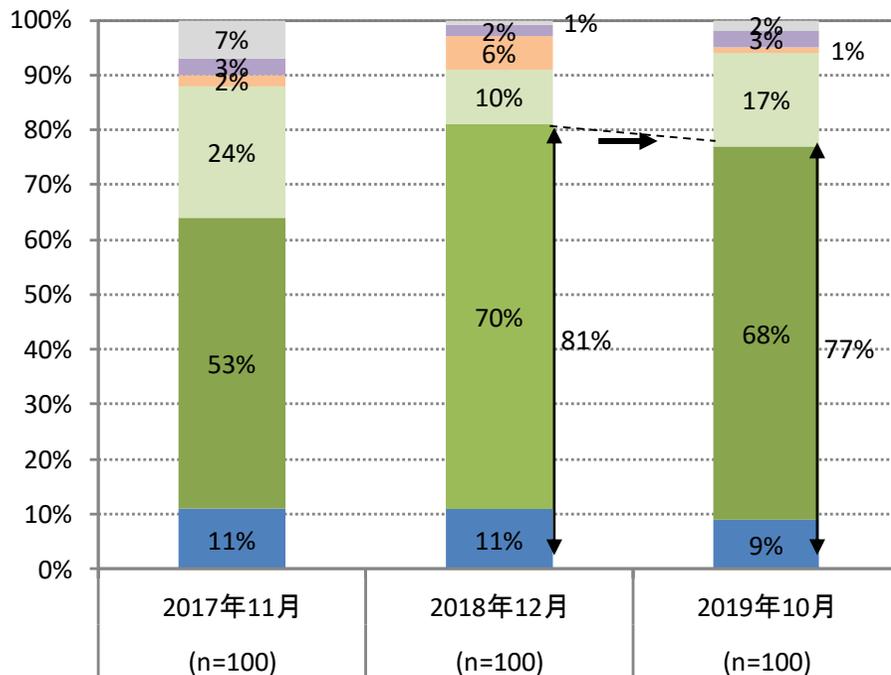
※アプリ内の掲載率:「初回起動時」、もしくは、「アプリ内のメニューやヘルプ等」のどちらかが「F」以外の判定となったアプリの割合。

※全体の掲載率:「紹介ページ」、もしくは、「アプリ内」のどちらかが「F」以外の判定となったアプリの割合。

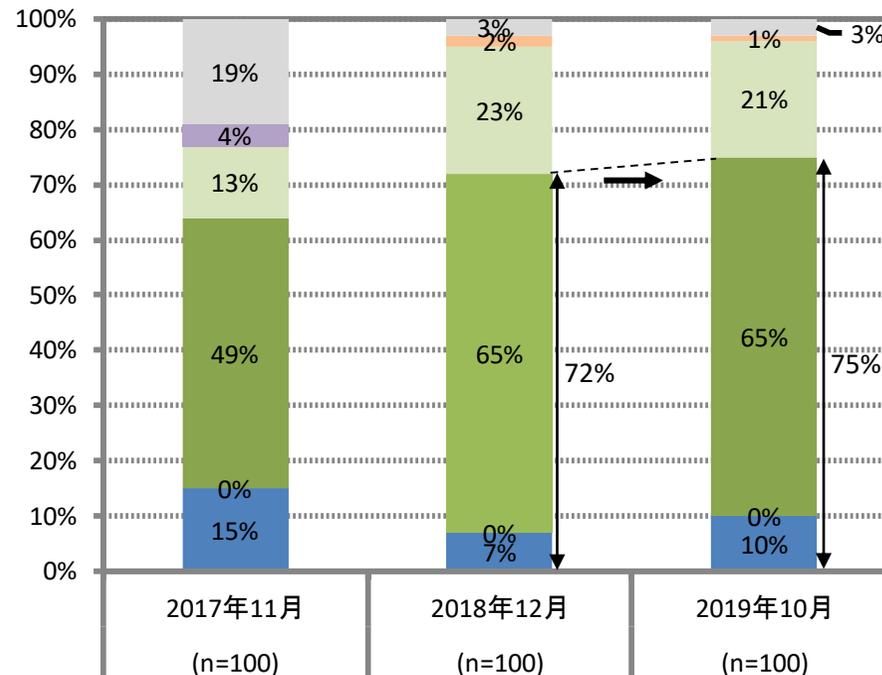
2.2.アプリプラポリ調査 調査結果(①人気アプリ:【1-2】プラポリの内容の分類)

Android・iOSともに、アプリを意識した記載のプラポリの割合(【A】【B】【C-1】の合計)はほぼ横ばいで推移している。

【Android】プラポリの内容の分類



【iOS】プラポリの内容の分類

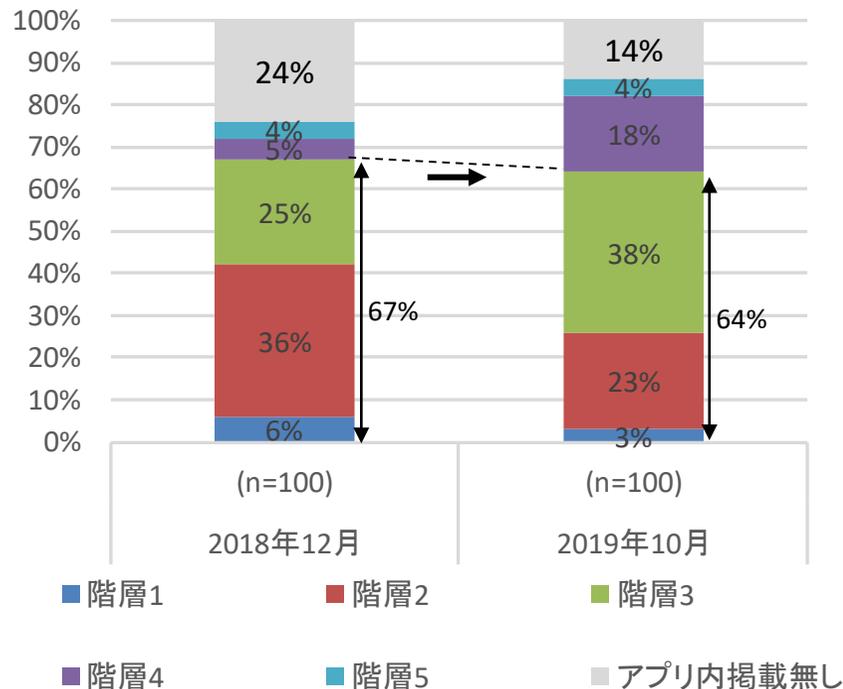


- 【A】個々のスマホアプリ専用のプラポリが用意されている
- 【B】会社・サービス全体のプラポリがあり、その中に個々のスマホアプリに関する記述がある
- 【C-1】会社・サービス全体のプラポリだけあり、スマホアプリを意識した記載になっている
- 【C-2】会社・サービス全体のプラポリだけあり、スマホアプリを意識した記載になっていない
- 【D】一般的なWebサイトのプラポリがあるだけ
- 【E】会社としての抽象的なポリシー(個人情報保護方針)があるだけ
- 【F】プラポリ自体が無い

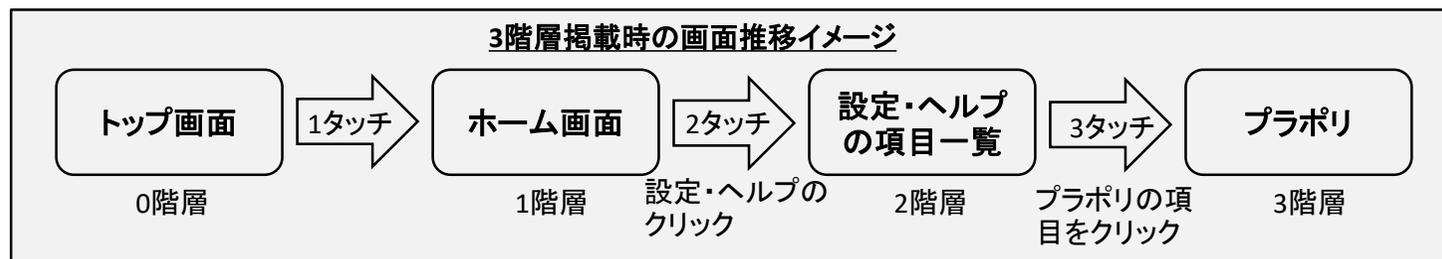
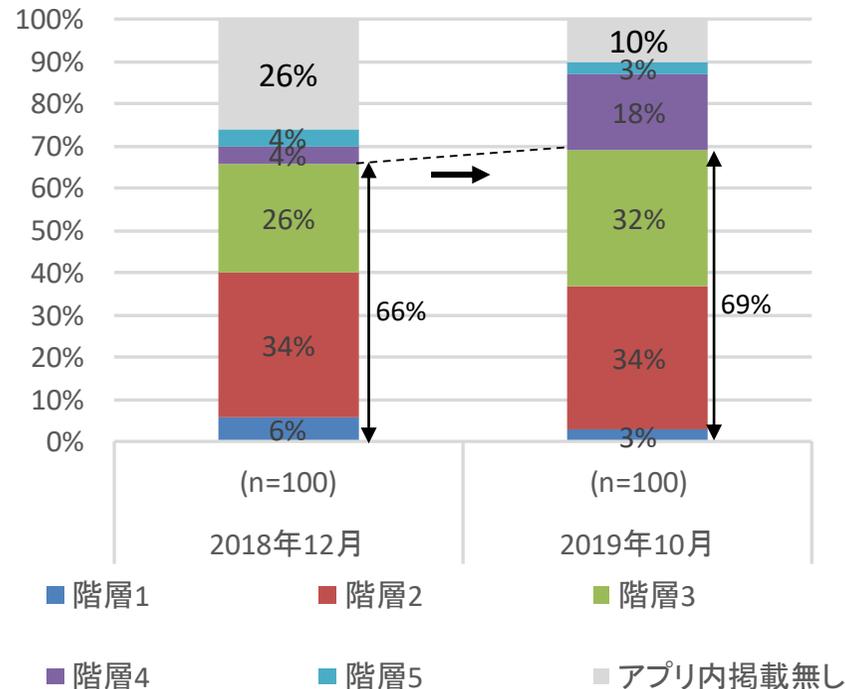
2.2.アプリプラポリ調査 調査結果(①人気アプリ:【1-3】プラポリの掲載階層)

Android・iOSともに、3階層以内に掲載されているアプリの割合がほぼ横ばいで推移。

【Android】アプリ内のプラポリの掲載階層



【iOS】アプリ内のプラポリの掲載階層



2.2.アプリプラポリ調査 調査結果(①人気アプリ:【2】SPI8項目の記載率)

Android、iOSともに、いくつかの項目で記載率が5ポイント以上減少しているものの、重要性が高い項目(①、②、④、⑥-1)の記載率はほぼ昨年度と変わらず、94%以上に達している。

SPI8項目の記載率※

番号	項目	Android		iOS		
		2018年12月 (n=99)	2019年10月 (n=98)	2018年12月 (n=97)	2019年10月 (n=98)	
①	情報を取得するアプリケーション提供者等の氏名または住所 (提供者名)	93%	97%	99%	97%	
②	取得される情報の項目(取得情報)	92%	94%	97%	95%	
③	取得方法	81%	73%	68%	79%	
④	利用目的の特定・明示(利用目的)	95%	95%	98%	97%	
⑤	通知・公表又は同意取得の方法、利用者関与の方法	⑤-1.送信停止の手順の記載(送信停止の手順)	40%	33%	32%	41%
		⑤-2.利用者情報の削除の記載 (利用者情報の削除)	66%	53%	71%	60%
⑥	外部送信・第三者提供・情報収集モジュールの有無	⑥-1.利用者情報の第三者への送信の有無の記載	96%	98%	98%	99%
		⑥-2.利用者情報の送信先の記載	47%	36%	46%	31%
		⑥-3.情報収集モジュールに関する記載	30%	22%	25%	22%
⑦	問合せ窓口	81%	77%	84%	74%	
⑧	プライバシーポリシーの変更を行う場合の手続き(変更手続き)	69%	68%	61%	62%	

SPI8項目において、特に重要性が高いと考えられる項目

※プラポリが存在していたアプリ数を母数として割合を算出。

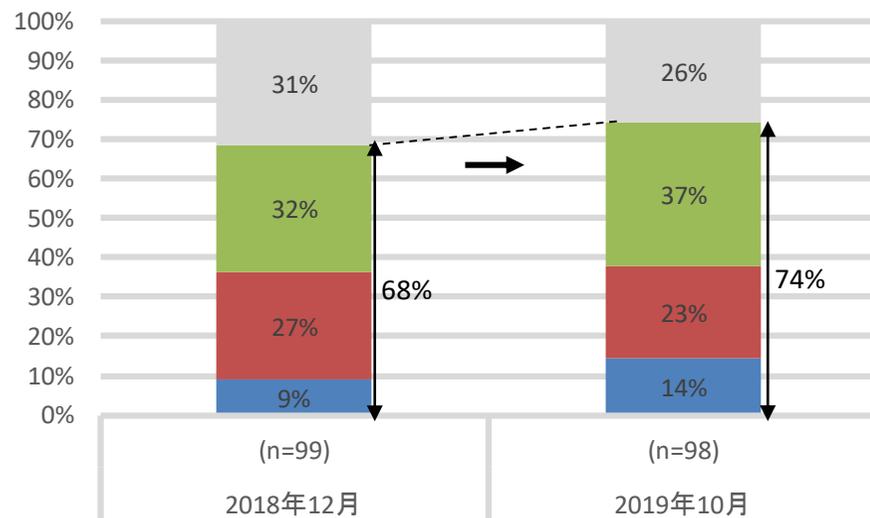
青字:昨年度から記載率が5ポイント以上増加

赤字:昨年度から記載率が5ポイント以上減少

2.2.アプリプラポリ調査 調査結果(①人気アプリ:【5-1】プラポリの改定履歴の記載状況)

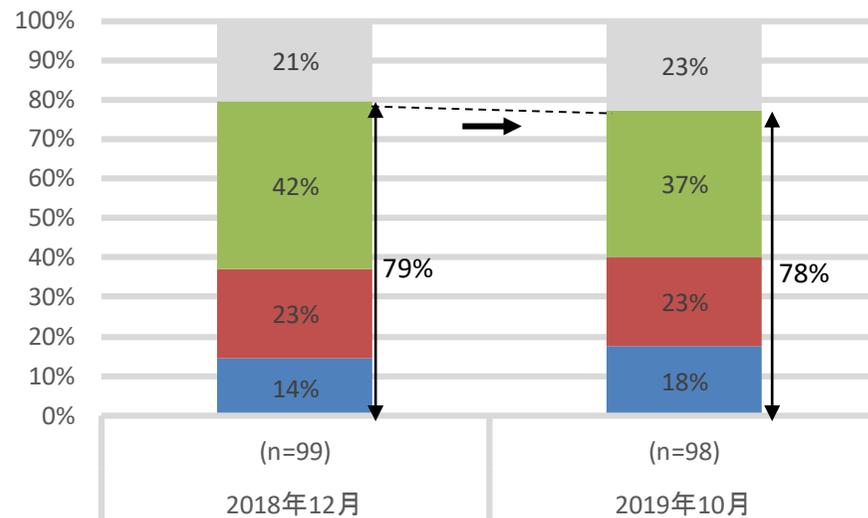
Android、iOSともに昨年度と比較して、改訂履歴の記載状況に大きな変化はない。

【Android】プラポリの改定履歴の記載状況



- × : 何も記載が無い
- △ : 直近の改定日のみ記載
- ○ : 改定日一覧のみ記載
- ◎ : 改定日一覧と改定内容や過去版へのリンクが存在

【iOS】プラポリの改定履歴の記載状況

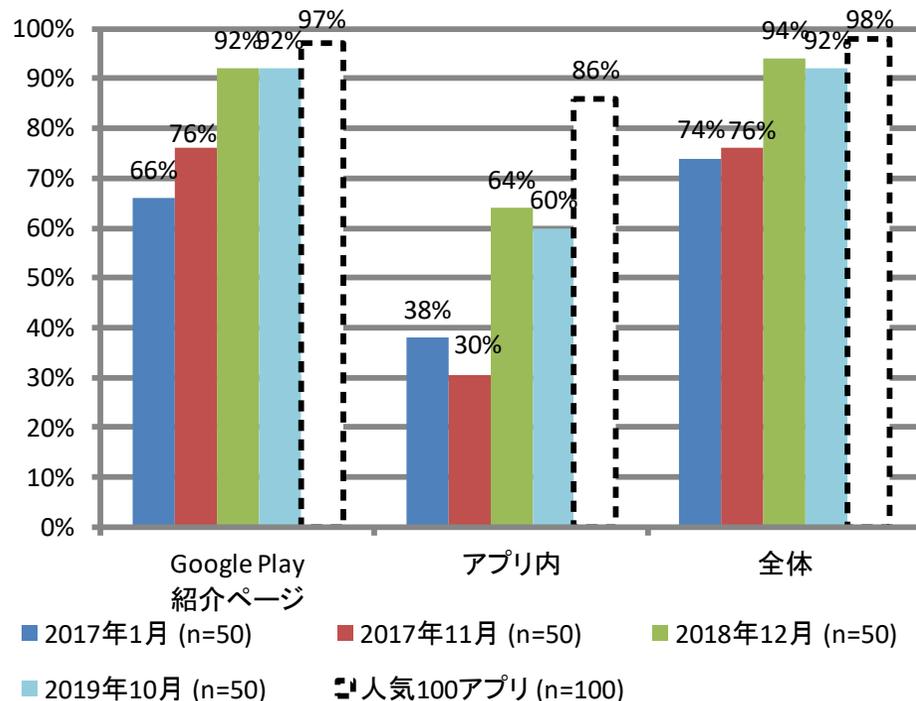


- × : 何も記載が無い
- △ : 直近の改定日のみ記載
- ○ : 改定日一覧のみ記載
- ◎ : 改定日一覧と改定内容や過去版へのリンクが存在

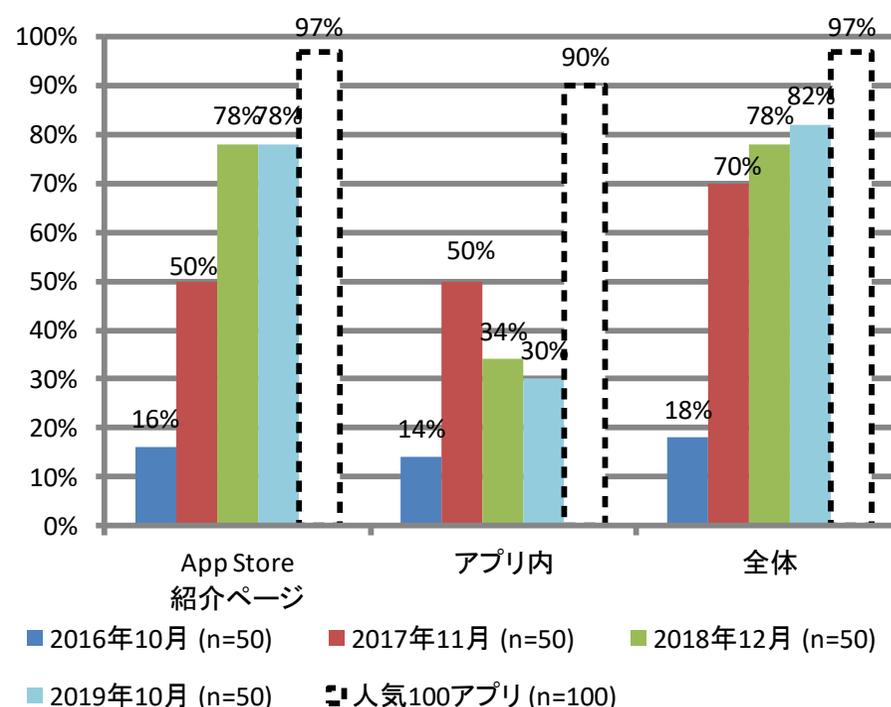
2.2.アプリプラポリ調査 調査結果(②新着アプリ:【1-1】プラポリの掲載率)

Androidでは「全体」の掲載率が90%強で横ばいで推移しており、人気アプリと同等の数値である。
iOSでは「全体」の掲載率が若干増加し、82%となった。

【Android】プラポリの掲載率



【iOS】プラポリの掲載率



※掲載率:「F」判定以外であれば、「プラポリ有り」と判断。

(「個々のアプリに関するプラポリが作成されていること」、「SPI8項目が適切に記載されていること」を示すものではない)

A: 個々のスマホアプリ専用のプラポリが用意されている。B: サービス全体のプラポリがあり、その中に個々のスマホアプリに関する記述がある。

C: サービス全体のプラポリがあり、その中に個々のスマホアプリに関する記述がない。D: 一般的なWebサイトのプラポリがあるだけ。

E: 会社としての抽象的なポリシー(個人情報保護方針)があるだけ。F: プラポリが記載されていない。

※紹介ページの掲載率:「紹介ページのリンク」か「紹介文内での記載」のどちらかで「F」以外の判定となったアプリの割合。

※アプリ内の掲載率:「初回起動時」、もしくは、「アプリ内のメニューやヘルプ等」のどちらかが「F」以外の判定となったアプリの割合。

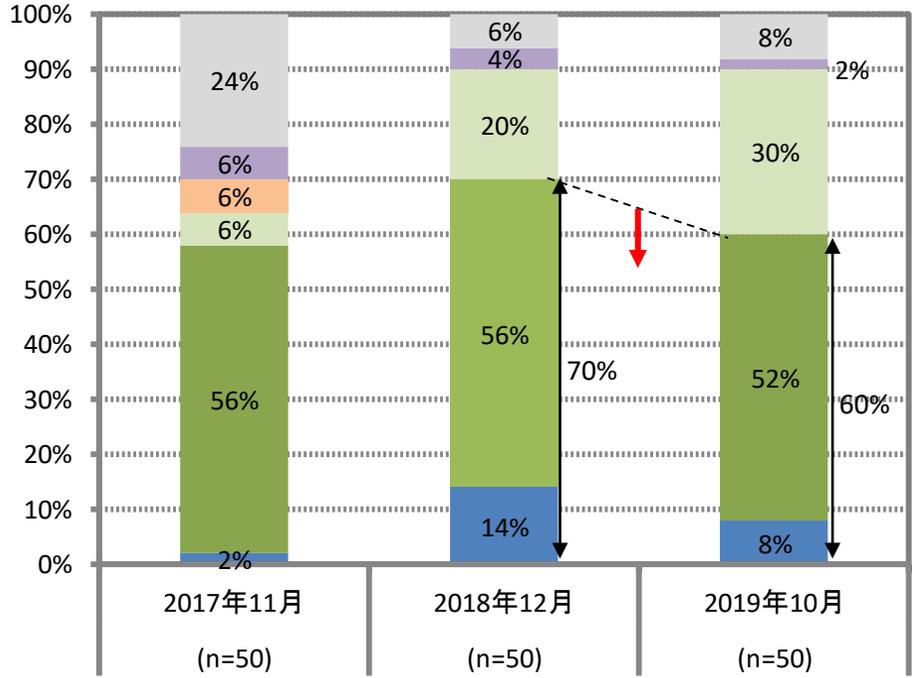
※全体の掲載率:「紹介ページ」、もしくは、「アプリ内」のどちらかが「F」以外の判定となったアプリの割合。

2.2.アプリプラポリ調査 調査結果(②新着アプリ:【1-2】プラポリの内容の分類)

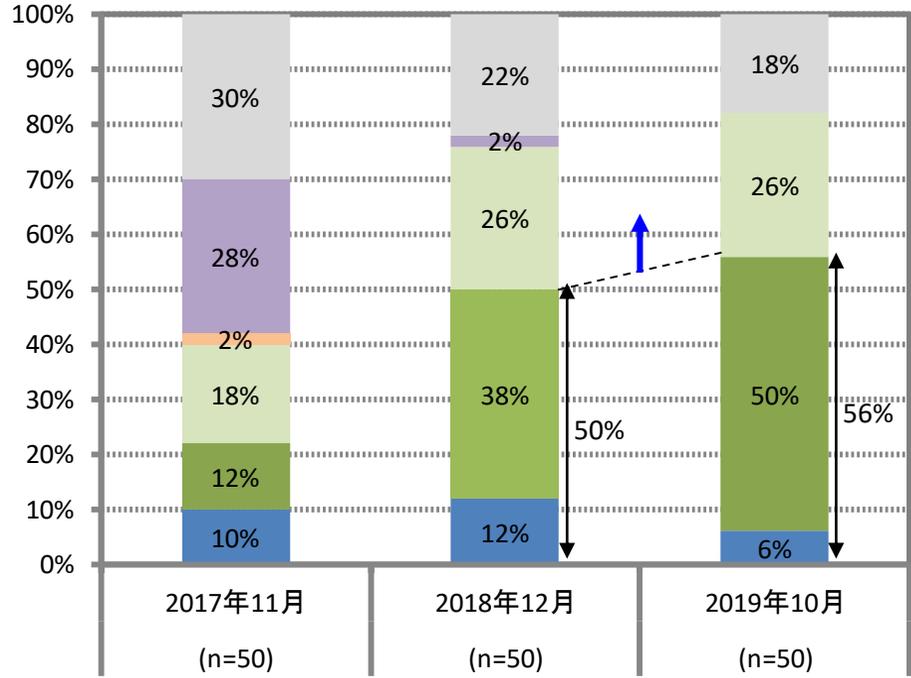
Androidではアプリを意識したプラポリの割合(【A】【B】【C-1】の合計)が10ポイント減少している。iOSではアプリを意識したプラポリの割合が6ポイント増加している。

Android、iOSともに、アプリを意識したプラポリの割合は50%以上に達している。

【Android】プラポリの内容の分類



【iOS】プラポリの内容の分類

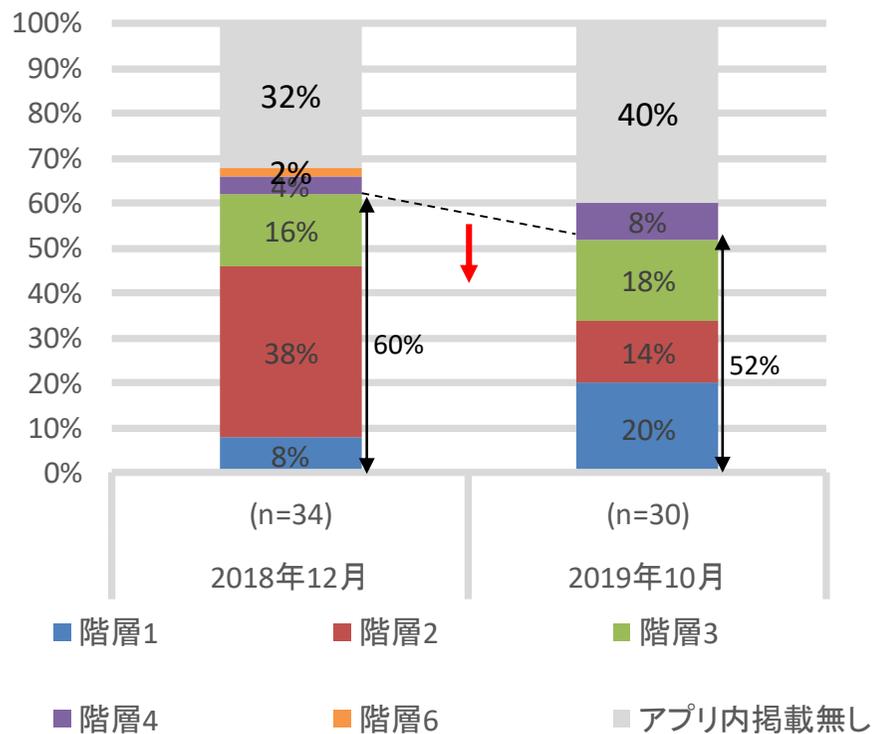


- 【A】個々のスマホアプリ専用のプラポリが用意されている
- 【B】会社・サービス全体のプラポリがあり、その中に個々のスマホアプリに関する記述がある
- 【C-1】会社・サービス全体のプラポリだけあり、スマホアプリを意識した記載になっている
- 【C-2】会社・サービス全体のプラポリだけあり、スマホアプリを意識した記載になっていない
- 【D】一般的なWebサイトのプラポリがあるだけ
- 【E】会社としての抽象的なポリシー(個人情報保護方針)があるだけ
- 【F】プラポリ自体が無い

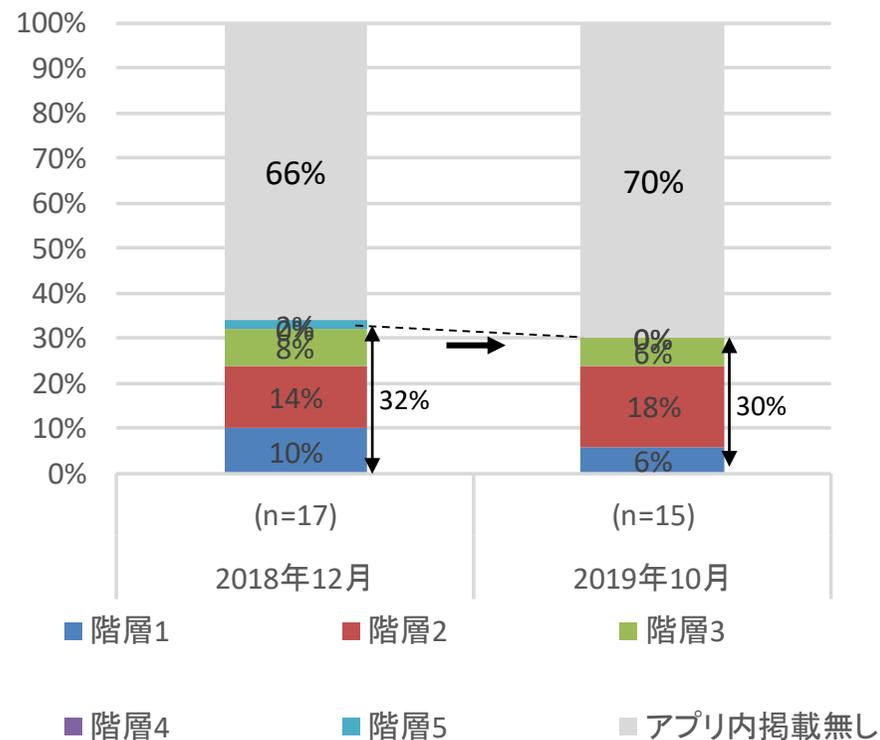
2.2.アプリプラポリ調査 調査結果(②新着アプリ:【1-3】プラポリの掲載階層)

Androidでは、3階層以内に掲載されているアプリの割合が8ポイント減少。ただし、Androidの場合には、階層1の掲載割合が伸びている。iOSでは、昨年度からほぼ横ばいで推移。

【Android】アプリ内のプラポリの掲載階層



【iOS】アプリ内のプラポリの掲載階層



2.2.アプリプラポリ調査 調査結果(②新着アプリ:【2】SPI8項目の記載率)

Android、iOSともに全体的に各項目の記載率が増加しており、人気アプリとの差もなくなっている。一部の項目では、新着アプリの方が記載率が高い傾向にある。

SPI8項目の記載率※

番号	項目	Android			iOS			
		新着アプリ		人気アプリ	新着アプリ		人気アプリ	
		2018年12月 (n=47)	2019年10月 (n=46)	2019年10月 (n=98)	2018年12月 (n=39)	2019年10月 (n=46)	2019年10月 (n=98)	
①	情報を取得するアプリケーション提供者等の氏名または住所(提供者名)	81%	85% ◀	97%	74%	88% ◀	97%	
②	取得される情報の項目(取得情報)	94%	98%	94%	97%	98%	95%	
③	取得方法	68%	57% ◀	73%	54%	68% ◀	79%	
④	利用目的の特定・明示(利用目的)	85%	100% ▶	95%	82%	95%	97%	
⑤	通知・公表又は同意取得の方法、利用者関与の方法	⑤-1.送信停止の手順の記載(送信停止の手順)	19%	22% ◀	33%	8%	7% ◀	41%
		⑤-2.利用者情報の削除の記載(利用者情報の削除)	45%	48% ◀	53%	46%	44% ◀	60%
⑥	外部送信・第三者提供・情報収集モジュールの有無	⑥-1.利用者情報の第三者への送信の有無の記載	85%	93% ◀	98%	92%	90% ◀	99%
		⑥-2.利用者情報の送信先の記載	38%	24% ◀	36%	26%	32%	31%
		⑥-3.情報収集モジュールに関する記載	11%	24%	22%	8%	29% ▶	22%
⑦	問合せ窓口	79%	85% ▶	77%	74%	88% ▶	74%	
⑧	プライバシーポリシーの変更を行う場合の手続き(変更手続き)	60%	74% ▶	68%	46%	66%	62%	

SPI8項目において、特に重要性が高いと考えられる項目

青字:昨年度から記載率が5ポイント以上増加
赤字:昨年度から記載率が5ポイント以上減少

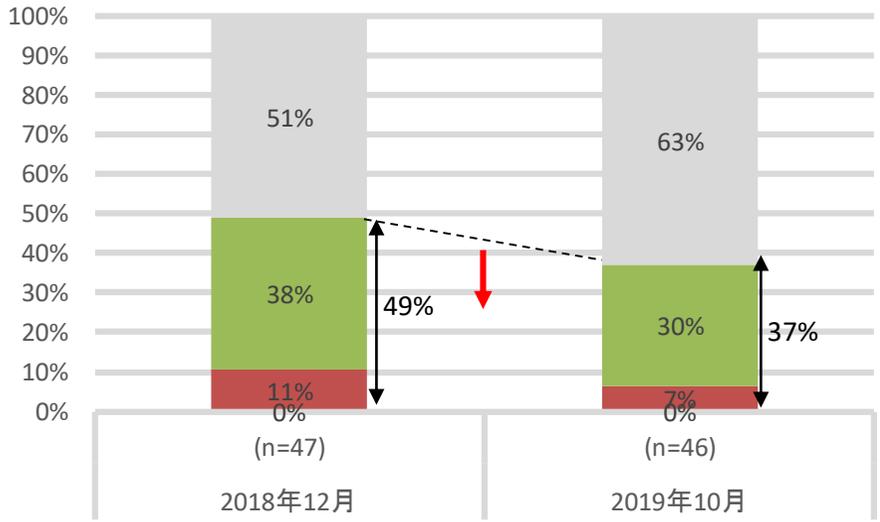
※プラポリが存在していたアプリ数を母数として割合を算出。

▶ 新着アプリの方が5ポイント以上高い項目 ◀ 人気アプリの方が5ポイント以上高い項目

2.2.アプリプラポリ調査 調査結果(②新着アプリ:【5-1】プラポリの改定履歴の記載状況)

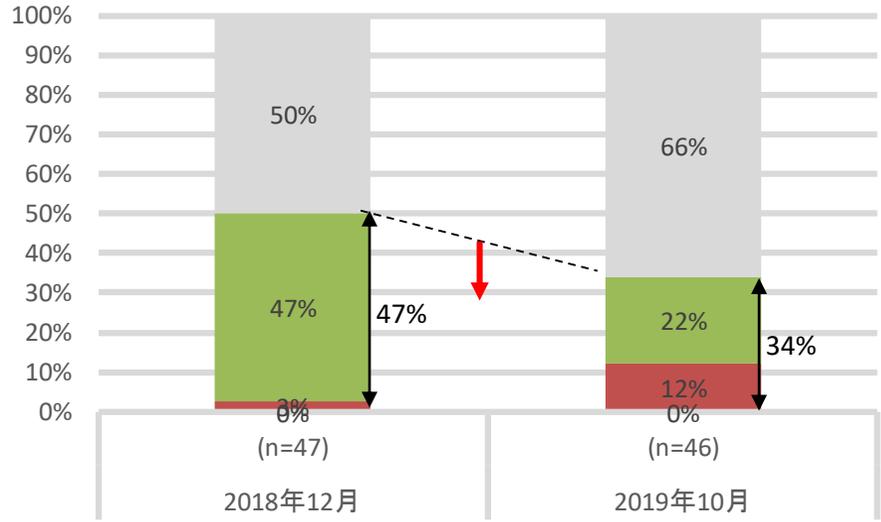
Android、iOSともに昨年度と比較して、改訂日が記載されているプラポリの割合が減少している。

【Android】プラポリの改定履歴の記載状況



- × :何も記載が無い
- △ :直近の改定日のみ記載
- ○ :改定日一覧のみ記載
- ◎ :改定日一覧と改定内容や過去版へのリンクが存在

【iOS】プラポリの改定履歴の記載状況



- × :何も記載が無い
- △ :直近の改定日のみ記載
- ○ :改定日一覧のみ記載
- ◎ :改定日一覧と改定内容や過去版へのリンクが存在

2.2.アプリプラポリ調査 調査結果(【3】同意取得状況)

新着アプリにおいて、プライバシー性の高い情報を取得するアプリの割合(項目1)が大幅に増加。

【調査概要】

- ・ <<項目1>>各端末の設定画面からアプリの取得情報を確認し、プライバシー性が高い4つの情報(電話番号、電話帳、位置情報、メールアドレス)を取得するかを確認
 ※Androidの場合は、アプリのインストール直後から設定画面から各アプリの情報取得の権限を確認できる(静的解析的なりスタップと推測)。そのため、Androidの場合には、アプリのコードを基にアプリの利用者情報の取得有無を判断したものであり、必ずしもアプリが利用者情報を取得するわけではないことに留意が必要。
- ・ <<項目2>>項目1で抽出したアプリのプラポリにおいて、取得し得る情報について、取得する旨が記載されているかを調査。

【Android】プラポリ内での同意の取得状況 調査結果

調査項目	①人気アプリ		②新着アプリ	
	2018年12月	2019年10月	2018年12月	2019年10月
<<項目1>>プライバシー性が高い4つの情報のいずれかを取得し得るアプリ(静的解析ベース)	70% (70/100)	72% (72/100)	16% (8/50)	40% (20/50)
<<項目2>>取得し得る個別の情報に関して、プラポリ内で取得する旨の記載があるアプリ	41% (29/70)	36% (26/72)	13% (1/8)	10% (2/20)

2.2.アプリプラポリ調査 調査結果(【調査項目4】概要版の作成・掲載状況)

概要版の掲載率はAndroidの人気アプリはほぼ横ばいであり、iOSは若干向上している。

新着アプリでは、Android、iOSともに、掲載率が0%であった。

アプリプラポリ概要版の掲載率 調査結果

調査対象		昨年度 調査結果	今年度 調査結果
①人気アプリ	Android	2% →	2%
	iOS	2% ↗	5%
②新着アプリ	Android	4%	0%
	iOS	0%	0%

概要版の事例(出典:NTT DOCOMO「dアカウント設定」)

アプリケーション・プライバシーポリシー

お客様がこのアプリケーションを利用されるにあたり、端末内の次の情報を外部送信します。

- 外部送信する情報
 - dアカウントのID/パスワード、電話番号
 - 端末固有ID
 - DeviceToken
 - お客様のサービス利用状況 (Google Analytics)
- 利用目的
 - サービス提供にあたりお客様を識別するため
 - サービス提供にあたりご利用の端末を識別するため
 - サービス提供にあたりご利用のアプリを識別するため
 - サービスの利用状況を分析し、サービスの機能改善、利便性向上を行うため
- 第三者提供等の有無
 - お客様のサービス利用状況についてはGoogle Inc.社に提供します。それ以外の情報を第三者に提供することはありません。

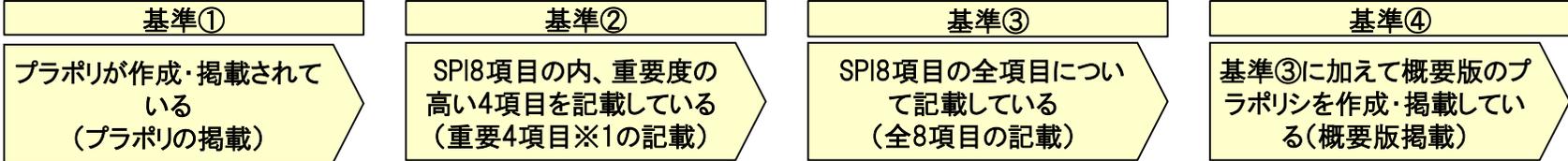
より詳細なアプリケーション・プライバシーポリシー全文は、下記リンクより全体版にてご確認いただけます。

[詳細を確認する](#)

[同意する](#)

2.2.アプリプラポリ調査 調査結果

人気アプリのAndroidでは、基準③に達しているアプリの割合が6ポイント増加。
 新着アプリではAndroid、iOSともに基準②に達成しているアプリの割合が10以上増加しており、重要度の高い4項目の記載が新着アプリでも浸透していると推測できる。



人気アプリ	Android	17年度	93%	71%	24%	2%
		18年度	99%	83%	40%	2%
		19年度	98%	86%	38%	2%※2
	iOS	17年度	81%	70%	24%	4%
		18年度	97%	90%	33%	2%
		19年度	97%	90%	39% ↑	4%※2

新着アプリ	Android	17年度	76%	50%	30%	0%
		18年度	94%	62%	24%	2%
		19年度	92%	72% ↑	20%	0%
	iOS	17年度	70%	28%	14%	0%
		18年度	78%	48%	12%	0%
		19年度	82%	62% ↑	14%	0%

※1重要4項目:「①提供者名」、「②取得される情報」、「④利用目的」、「⑥外部送信・第三者提供、情報収集モジュール」

※2 具体的なアプリ・事業者は以下の通り
 - Android人気アプリ: au WALLET (KDDI)、dポイントクラブ (NTTドコモ)
 - iOS人気アプリ: au WALLET (KDDI)、dポイントクラブ (NTTドコモ)、dアカウント設定 (NTTドコモ)、Zipline Valley (Narcade)

青字: 昨年度から記載率が5ポイント以上増加

現状分析と
傾向

【プラポリの掲載率】

◆ 人気アプリではAndroid・iOSともにほぼ100%に達している。新着アプリでは、Androidが90%強、iOSも80%強に達している。(P4、P9)

- ▶ Google Play・App Storeともに原則的にプラポリの掲載を義務付け、非掲載アプリに対してはアプリマーケットからの削除や審査のリジェクト等を行った結果、掲載率が大幅に向上したと思われる。

【プラポリの記載内容】

◆ 人気アプリでは、アプリを意識した記載のプラポリの割合(【A】【B】【C-1】の合計)はほぼ横ばいで推移しており、全体の70%以上がスマホアプリを意識して記載されたプラポリとなっている。(P5)。

◆ 新着アプリについては、アプリを意識したプラポリの割合(【A】【B】【C-1】の合計)が50%以上であり、半数以上のアプリでスマホアプリを意識して記載されたプラポリが掲載されている。(P10)。

【SPI8項目記載状況等】

◆ 人気アプリではいくつかの項目で記載率が5ポイント以上減少しているものの、重要性が高い項目の記載率はほぼ横ばいで推移しており、プラポリの質が落ちたとは言えない。

◆ 新着アプリではAndroid、iOSともに全体的に各項目の記載率が増加しており、人気アプリとの差もなくなっている。この背景としては、GDPR対応やGoogle Play・App Storeのプラポリ義務化に対して、新着アプリの個人や小規模事業者が、プラポリのひな型等を用いて記載しているためと想定される。

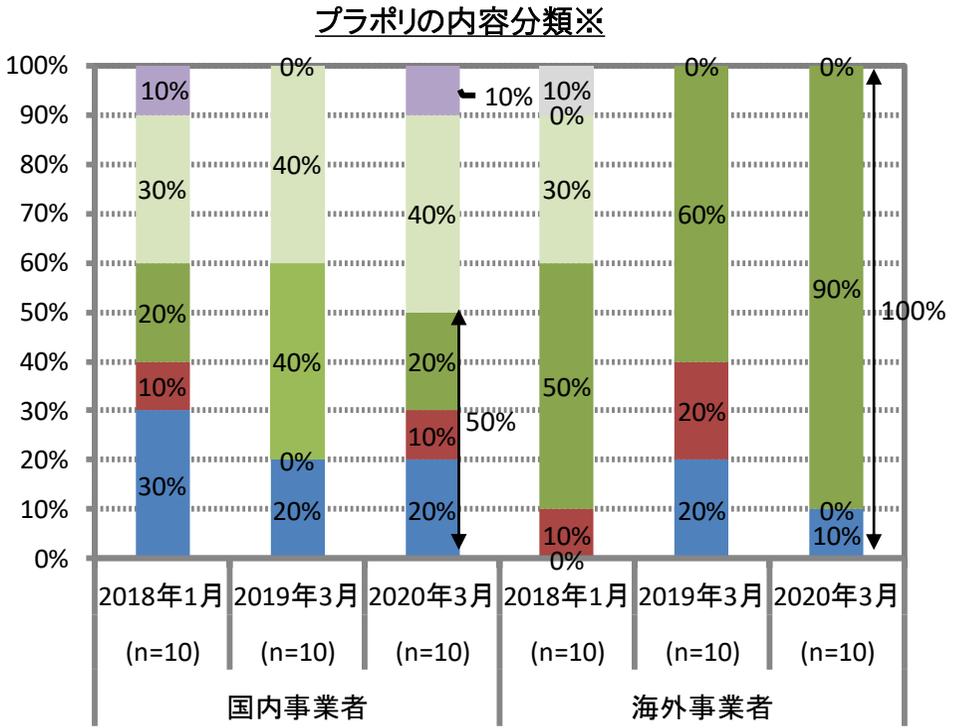
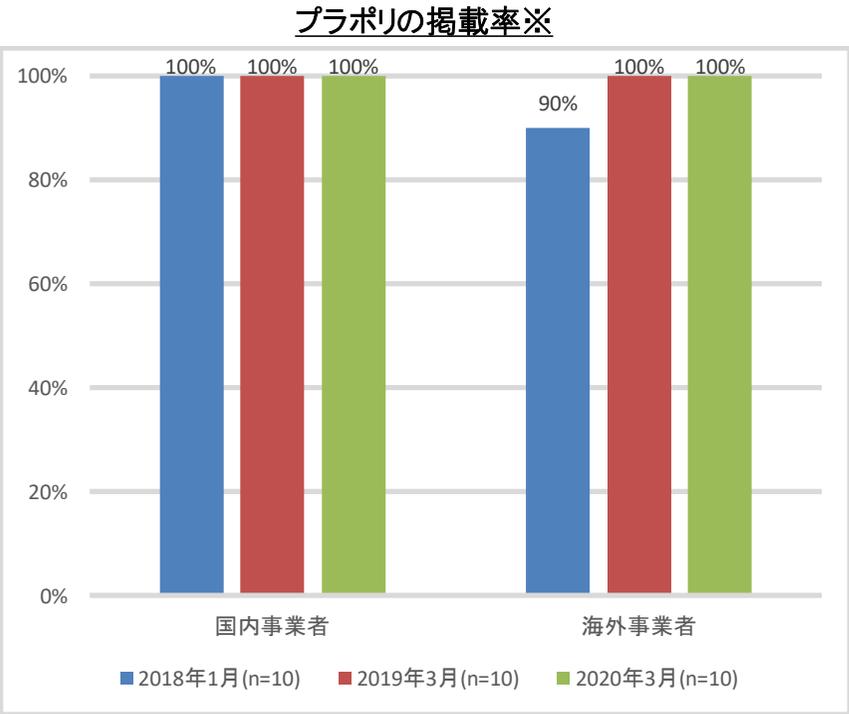
今後の
課題・取組

◆ 人気アプリでは掲載率は100%近くになり、新着アプリでもAndroidが90%強、iOSも80%強に達しており、アプリを意識した記載のプラポリの割合も高く、プラポリの質も一定程度に達したと考えられる。

◆ 一方で、概要版の掲載率は相変わらず低く、利用者情報の取扱いについて容易に理解できる環境整備も重要と考えられる。

2.4.情報収集モジュール事業者のプラポリ調査 調査結果(【調査項目1】)

国内・海外の事業者ともにプラポリの掲載率は100%となっている。
 海外事業者の方が情報収集モジュールを意識した記載のプラポリの割合(【A】【B】【C-1】の割合)が依然とした高い状況にある(GDPR対応への意識の差が出ているものと思われる)。



※掲載率: プライバシーポリシーや個人情報保護方針やこれらに準ずるものが記載されたページが事業者のウェブページ上で見つかれば、「プラポリ有り」と判断。
 (「個々の情報収集モジュール、もしくは、広告ネットワーク等のサービスに関するプラポリが作成されていること」、「SPI8項目が適切に記載されていること」を示すものではない)

- 【A】個々のスマホアプリ専用のプラポリが用意されている
- 【B】会社・サービス全体のプラポリがあり、その中に個々のスマホアプリに関する記述がある
- 【C-1】会社・サービス全体のプラポリだけあり、スマホアプリを意識した記載になっている
- 【C-2】会社・サービス全体のプラポリだけあり、スマホアプリを意識した記載になっていない
- 【D】一般的なWebサイトのプラポリがあるだけ
- 【E】会社としての抽象的なポリシー(個人情報保護方針)があるだけ
- 【F】プラポリ自体が無い

※「個々のスマホアプリ」を「個々の広告・分析サービスやモジュール」と読み替えて分類を実施

2.4.情報収集モジュール事業者のプラポリ調査 調査結果(【調査項目2】)

重要性が高いと考えられる4項目については、国内・海外ともに大半の事業者がプラポリに記載している。
また、国内・海外ともに項目⑥「外部送信・第三者提供・情報収集モジュールの有無」に関する記載率が伸びている。

SPI8項目の記載率※

番号	項目	国内事業者		海外事業者		
		2019年3月 (n=10)	2020年3月 (n=10)	2019年3月 (n=10)	2020年3月 (n=10)	
①	情報を取得するアプリケーション提供者等の氏名または住所(提供者名)	100%	100%	100%	100%	
②	取得される情報の項目(取得情報)	90%	90%	100%	100%	
③	取得方法	-	-	-	-	
④	利用目的の特定・明示(利用目的)	90%	70%	100%	100%	
⑤	通知・公表又は同意取得の方法、利用者関与の方法	⑤-1.送信停止の手順の記載(送信停止の手順)	80%	80%	90%	90%
		⑤-2.利用者情報の削除の記載(利用者情報の削除)	0%	40%	20%	30%
⑥	外部送信・第三者提供・情報収集モジュールの有無	⑥-1.利用者情報の第三者への送信の有無の記載	60%	80%	100%	100%
		⑥-2.利用者情報の送信先の記載	20%	40%	20%	40%
		⑥-3.情報収集モジュールに関する記載	-	-	-	-
⑦	問合せ窓口	100%	90%	100%	100%	
⑧	プライバシーポリシーの変更を行う場合の手続き(変更手続き)	60%	40%	100%	100%	

※プラポリが存在していたアプリ数を母数として割合を算出。